

I 沿革の概要

昭和46年 山梨市立日下部中学校と同八幡中学校が統合し、
山梨北中学校創立（創立記念日9月30日）
48年 実質統合
49年 校舎、体育館、プール落成式、校歌制定、校章制定、校旗樹立式
53年 校訓「自律」の碑 建立（第7回卒業記念）
文部省指定体力づくり研究発表（51年度～）
54年 校庭スタンド3段新設完了 1～3階廊下補修完了
56年 創立10周年記念式典 記念講演会、記念誌「展けゆくNo.1」発刊
57年 校庭自動散水施設竣工 ・体育館校歌大額設置（第11回卒業記念）
58年 ロダン「考える人」（日下部中卒業生寄贈）
59年 格技場 落成式
60年 体育館 改修工事 完成 プール補修工事完成
テニスコート散水施設設置
61年 第41回国民体育大会「かいじ国体」 バレーボール会場
62年 優良PTA文部大臣表彰
63年 体育館緞帳新調工事 完成
平成 元年 給食室改修工事 完成
2年 L.L機器設置 完了
3年 3階大規模改造工事・屋上防水工事完了
文部省機器利用英語教育研究指定公開発表
創立20周年記念式典 記念誌「展けゆくNo.2」発刊
4年 2階大規模改造工事完了
5年 1階大規模改造工事完了・コンピュータ教室設置 校舎全面外面塗装工事
5年 コンピュータ21台設置
6年 全国学校給食優良校文部大臣表彰
8年 文部省中学校教育課程研究公開研究発表
10年 コンピュータ41台新規設置
11年 プール温水シャワー設置 体育館ステージ照明新規設置
12年 校舎北側校門設置（平成11年度卒業記念）
学校教育目標（やまきた）に改定 インターネット接続
プレハブ物置設置（プール・校舎北側）
体育館屋根葺き替え工事完了
校庭防砂生垣・指揮台（平成12年度卒業記念）
13年 ベランダ手摺塗装・プール付 防水・3階扇風機設置
図書室へコンピュータ設置
創立30周年記念式典 記念講演会、記念誌「展けゆくNo.3」発刊
校内LAN設置 テント4張（平成13年度卒業記念）
14年 文科省「学力向上フロンティアスクール」指定校
電話型インターフォン設置工事完了
テント3張（平成14年度卒業記念）
15年 地域ふれあい 道德推進事業実施 放送室設備入れ替え
コンピュータ室パソコン入れ替え 職員一人一台パソコン導入
耐火金庫1台（平成15年度卒業記念）
16年 「学力向上フロンティアスクール」研究発表会
屋上に風力発電装置とソーラー・パネルを設置
17年 紅白幕一式・長机16脚（平成16年度卒業記念）
スロープ設置、体育館緞帳の新調
18年 デジタルアップライトピアノ1台（平成17年度卒業記念）
電波時計2台（平成18年度卒業記念）
19年 職員コンピュータ入れ替え
20年 テント2張 移動用台車2台（平成19年度卒業記念）
校舎西館耐震大規模改修工事
20年 優勝旗・カップ飾り棚（平成20年度卒業記念）
21年 敷地内禁煙 校舎東館耐震大規模改修工事
太陽光発電屋上設置 体育館耐震大規模改修工事
22年 地デジ対応テレビ設置（音楽室・体育館・梨の葉）
体育館耐震・大規模改修工事 完成
23年 校庭防球ネット改修工事 完成
創立40周年記念式典・記念芸術鑑賞会 記念誌「展けゆ No.4」発刊
換気扇設置（普通教室）正面玄関スロープ改修 他
24年 給食調理民間委託 体育館倉庫雪害による破損修理
校舎トイレブースパネル修理
25年 自転車置き場屋根雪害による破損修理
26年 校庭の石撤去 テニスコート整地
27年 アイオワ州ブエナビスタ大学学校訪問・交流
28年 全教室エアコン設置・使用開始
授業改善プラン実践事業公開研究会（3ヵ年研究終了）
30年 学校給食センター化・給食室撤去及びプラットホーム（配膳室）竣工
令和 元年 紅富士太鼓ネパール支部訪問団来校
2年 朝ノック・パ・ランノックを学ぶ会 鈴木徹氏講演会
新型コロナウイルス感染症防止臨時休業 49.2 校時後～5/31
3年 GIGA スクール構想(高速大容量Wi-Fi・一人一台端末導入)
B&G プールを利用した水泳授業開始 道德教育研究事業指定校（H31～R3）公開授業研究会
感染症対策としての分割授業(8～9月・1～3月)
創立50周年記念式典・記念講演
4年 屋外トイレ竣工・生徒机椅子の新調(3学年次) 開始
5年 リーディング DX スクール事業指定校
校舎内電灯LED 工事
6年 生徒机椅子の新調(3 学年次) 終了
GIGA スクール構想～移動式大型モニター（10 台）寄贈（山梨通運株式会社）

II 学校経営の概要

1 校訓・学校教育目標

校 訓 『 自 律 』
学校教育目標 『 知・徳・体の調和のとれた生徒の育成 』
めざす生徒像
(1) 自ら考え学習する生徒 (知)
(2) 心豊かで思いやりのある生徒 (徳)
(3) 心身ともにたくましい生徒 (体)

2 学校経営の努力点とその具体策

- 新しい時代に必要となる資質・能力を育成する
(1) 知識・技能・思考力・判断力・表現力等学びに向かう力・人間性等を育成する
ア. 世界に通じ、社会を生き抜く力を育成する。
①「外国語教育」を充実させ、英語力の向上を図る。
②「小中連携教育」を推進する。
③「ICT」を活用した教育を充実させ、情報活用能力を養う。
④「キャリア教育」の質的・量的向上を図る。
イ. 確かな学力と自立する力を育成する（学習指導の充実）
①子ども主体の授業への授業観の転換
②「家庭学習」の定着を図り、家庭との連携を行う。
③学ぶことの楽しさを味わうとともに、互いの考えや想いに共鳴し、共感できる生徒の育成。
(2) 体力の向上と健康教育の推進をはかる（健康で豊かな生活の営みを創出）
①体育的行事等の特別活動や休み時間、部活動等、学校教育活動を相互に関連させ、実践し、体力の向上に努める。
②「食」「安全」「心身の健康の保持増進」に関する指導を相互に関連させて実践する。
- 豊かな心と自己実現を図る力を育成する
①いじめに関する情報を共有し、いじめを許さない集団づくりを行う。
②不登校生徒が生じない環境づくりを行う。
③道徳的心情と実践力を高めるために、考え議論する授業を行う。
- 一人一人のニーズに応じた特別支援教育を充実
○教員の専門性の向上と「個別的教育支援計画」の作成・活用を図る。
- 個々の生徒の自立を目指した通級指導教室を充実する。
○障害による学習上または生活上の困難を主体的に改善・克服するための知識、技能、態度及び習慣を育成する。
- インクルーシブ教育の推進
○共生社会の担い手づくり
- 子どもたちが安全で安心に生活できる環境づくりを行う
①学級経営・ホームルーム経営の充実
②「学校危機管理マニュアル」の見直しを行う。
③家庭や地域に開かれた信頼される学校づくりを推進する。
④「学校評価」を「PDCA」で行い、結果の公表と意見を回答し、説明責任を果たす。
⑤学校運営協議会制度の導入と充実

III 主な年間行事予定

1学期		2学期		3学期
・入学式	・始業式	・始業式	・避難訓練	・始業式
・家庭訪問	・修学旅行	・光輝祭	・創立記念日	・避難訓練 ・授業参観
・PTA 総会	・授業参観	・職場体験	・強歩大会	・お教室
・宿泊学習	・校外学習	・一斉読書	・生徒会選挙	・3年生を送る会
・避難訓練	・生徒総会	・教育相談	・芸術鑑賞	・卒業式
・一斉読書	・三者懇談	・道徳参観	・生徒総会	・修了式
	・終業式	・三者懇談	・終業式	

IV 生徒数

年 組	男 子	女 子	合 計
1 年 1 組	1 5	1 6	3 1
1 年 2 組	1 6	1 5	3 1
1 年 3 組	1 6	1 5	3 1
梨 の 葉	1 0	2	1 2
1 学 年 計	5 7	4 8	1 0 5
2 年 1 組	1 4	1 6	3 0
2 年 2 組	1 4	1 4	2 8
2 年 3 組	1 3	1 4	2 7
2 年 4 組	1 4	1 3	2 7
梨 の 葉	3	4	7
2 学 年 計	5 8	6 1	1 1 9
3 年 1 組	1 4	1 4	2 8
3 年 2 組	1 7	1 5	3 2
3 年 3 組	1 5	1 6	3 1
3 年 4 組	1 7	1 2	2 9
梨 の 葉	5	4	9
3 学 年 計	6 8	6 1	1 2 9
合 計	1 8 2	1 7 0	3 5 3

V 校内研

1 研究主題

自ら学ぶ力をつける学習指導に関する研究
～個別最適な学びの実現に向けたICT活用の在り方～

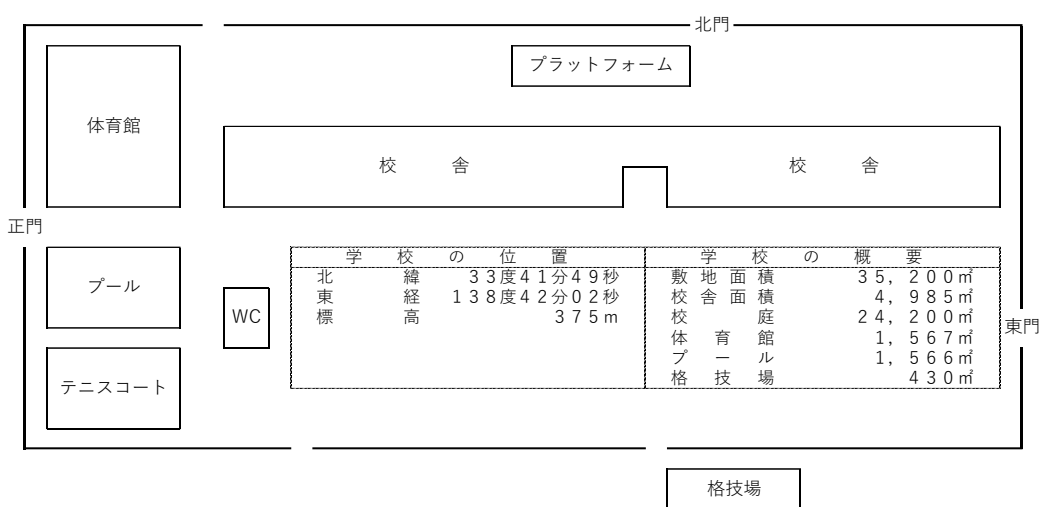
2 研究でめざす生徒像

様々な状況や学習場面に応じ、自ら考え、判断し、適切に課題解決ができる生徒

3 研究内容

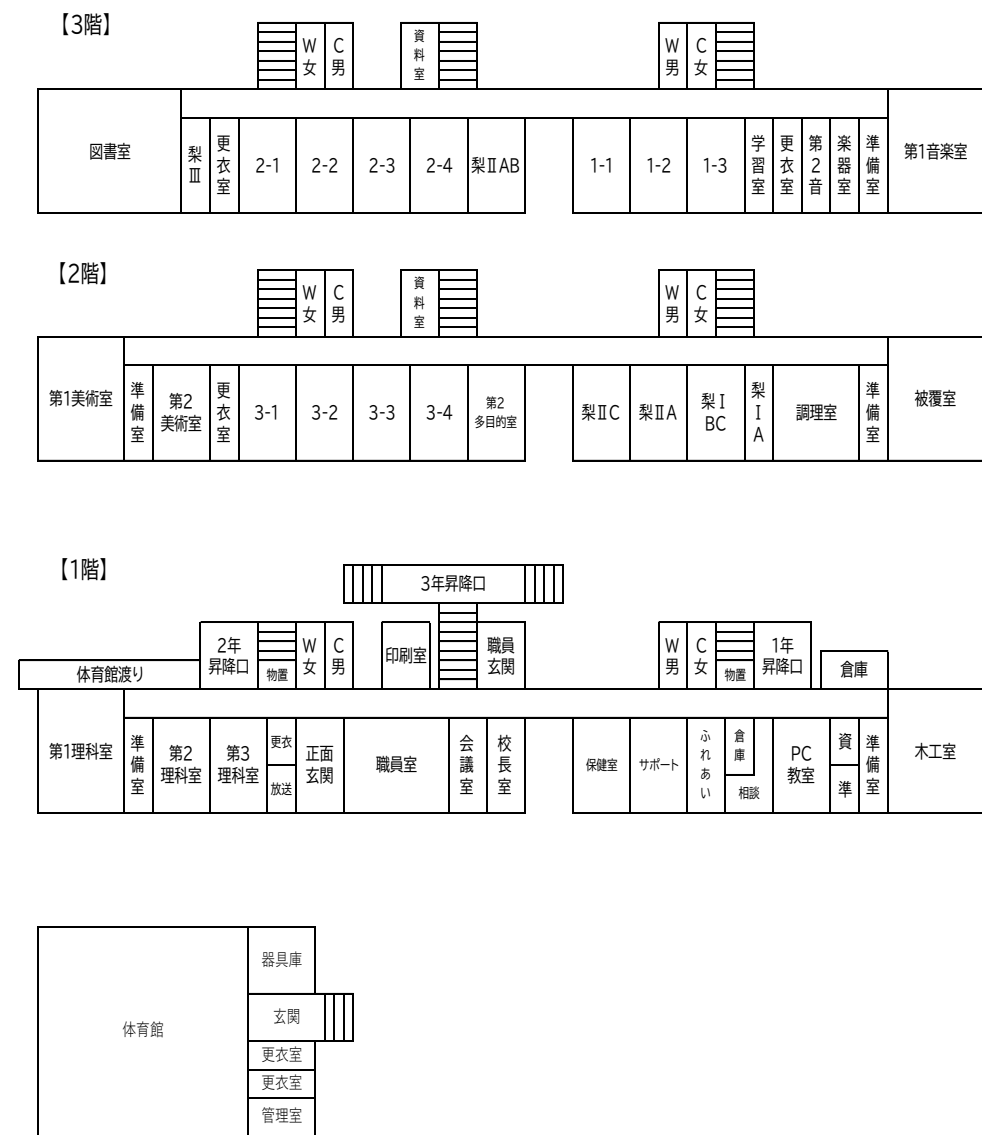
- 自ら学ぶ力をつける取組(思考力・判断力・表現力等を高める取組)
○授業過程の工夫「山北スタイル」
ア 日々の授業実践への導入
イ 一人一実践
ウ 研究授業
- 基礎学力定着の取組
ア 学力を向上させるための学習ノートの活用
イ 朝読書→読書活動の定着
ウ 山北サポートタイム
- 教材教具の開発・工夫と一人一台タブレットの活用
・主体的対話的で深い学びに向けたICT活用に関わる事例研究
・各教科における、個別最適な学びに関する教材研究
・各教科の実践事例の共有化（研究授業・1人1実践）
・1人1台タブレット活用に向けた全校統一に関する研究
- その他
・道徳教育の推進 ・QU活用した集団づくり ・特別支援教育
・通級指導教室 ・ECHOES 学習

VI 校舎配置図



VII 教室配置図

令和7年度 校舎内教室配置図



VIII 職員組織一覧

職員組織一覧					
No	職 名	氏 名	担当教科	担当学年学級・主な校務分掌	部 活 動
1	校 長	鶴 田 誠 司		学校経営	
2	教 頭	永 関 幸 玄		学校運営・PTA	サッカー
3	主 幹 教 諭	石 田 周 子	家庭	教務主任・多忙化解消委員会主任	家庭科
4	教 諭	丸 山 正 史	英 語	生徒指導主事・不登校	柔道
5	養 護 教 諭	井 口 礼 子		保健主事	
6	事 務 幹	杉 原 聡 子		学校事務・共同学校事務室長	
7	事 務 職 員	中 村 希 更		学校事務	
8	図 書 館 司 書	小 林 ち ひ ろ		図書館運営	
9	用 務 員	藤 原 靖 久		学校用務	
10	N L T	ディッキンソン・ロバート		英語指導	
11	配 膳 員	土 屋 聖 一		給食配膳	
12	スクールカウンセラー	鈴 木 美 菜 子		スクールカウンセラー	
13	栄 養 士	上 野 治 美		学校給食(給食センターより)	
14	教 諭	前 島 香 織	社 会	1学年主任	科学・テニス
15	教 諭	飯 島 聖 華	理 科	1年副主任	女子バレーボール
16	教 諭	菊 島 昭 佳	数 学	1年1組担任	女子バスケットボール
17	教 諭	上 間 正 弥	英 語	1年2組担任	剣道
18	教 諭	古 屋 希 望	理 科	1年3組担任	サッカー
19	教 諭	萩 原 久 子	音 楽	梨ⅠA(知的)担任	吹奏楽
20	教 諭	小 澤 朋 子	美 術	梨葉ⅡA(情緒)担任	美術
21	教 諭	清 水 佐 知 子	体 育	梨葉ⅡA(情緒)副担任・教育相談	女子ハンドボール
22	教 諭	依 田 久 幸	国 語	梨葉ⅡAB(情緒)担任	サッカー
23	教 諭	門 田 寛 子		通級指導教室主任	美術
24	教 諭	山 本 順 美		通級指導教室	
25	教 諭	平 山 昌 実	音 楽	2学年主任・キャリア教育主任	吹奏楽
26	教 諭	石 井 美 保	理 科	2年副主任・研究主任	男女バレーボール
27	教 諭	利 根 川 紫 野	英 語	2年1組担任	女子ソフトテニス
28	教 諭	梶 原 顕	社 会	2年2組担任	男女ハンドボール
29	教 諭	武 藤 拓 馬	体 育	2年3組担任	男子バスケットボール・陸上
30	教 諭	川 崎 真 理 子	国 語	2年4組担任	男子卓球
31	教 諭	渡 辺 和	数 学	梨葉ⅡAB(情緒)副担任	男女バスケットボール
32	教 諭	望 月 元 樹	体 育	梨Ⅲ(難聴)担任	男女ソフトテニス・ラグビー・陸上
33	非常勤講師	佐 野 厚 子	数 学	2年所属	
34	教 諭	矢 澤 恵 美 子		通級指導教室	男子ハンドボール
35	教 諭	宮 下 智 英	社 会	3学年主任・進路指導主事	吹奏楽
36	教 諭	嶋 津 英 斗	技 術	3年副主任	女子卓球
37	教 諭	内 田 貴 之	数 学	3年1組担任	ソフトボール
38	教 諭	大 村 悠 太	理 科	3年2組担任	野球
39	教 諭	藤 沢 仁 士	保 体	3年3組担任・生徒会主任	男子バレーボール・陸上
40	教 諭	山 口 加 奈	数 学	3年4組担任	男子ソフトテニス
41	教 諭	大 村 隆	英 語	梨葉ⅠBC(知的)担任 特別支援コーディネーター	野球・水泳
42	教 諭	尾 身 美 廣	国 語	梨葉ⅡC(情緒)担任	科学・陸上
43	教 諭	河 野 美 春	国 語	3年所属	
44	教 諭	上 野 基 広		通級指導教室	
45	教 諭	橋 爪 裕 幸		通級指導教室	
46	教 諭	田 中 隆 昭		初任者指導教員(石和中所属・火曜日本校勤務)	
47	特別支援教育支援員	澤 登 政 直		特別支援教育支援	
48	特別支援教育支援員	飯 島 秀 子		特別支援教育支援	
49	教 諭	大 村 彩 佳	国 語	(育休)	

令和 7 年度

学 校 要 覧



校 歌

作詞 曾根崎保太郎
作曲 林 光

一 展けゆく わが古里の
ま向かいに 富士澄むところ
若き眉 あげて理想を
高だかど かかげて集う
聳えたつ 学びの館
誇らしき名を 讃えよう
ああ母校 山梨北中学校
太陽を 心にいだき
笛吹の 瀬音のしらべ
緑こき 野山の風に
恵まれて 励むしあわせ
われらいま 誓いもかたく
栄光の 旗仰ぎ見る
ああ母校 山梨北中学校
日日の意志 日日新しく
夢多き 未来にはるか
巢立ちゆく 翼を鍛え
青春を 悔なく学ぶ
とぶ雲に 響けよ歌よ
伝統は かがやきつづく
ああ母校 山梨北中学校

山 梨 市 立 山 梨 北 中 学 校

〒405-0005

山梨県山梨市小原東359-1

電話 0553-22-0200

FAX 0553-22-9935